



## Media Release

リリース日: 2013年2月4日

### ANZ、オーストラリア代表チームのスポンサーを発表 —2013 ワールドベースボールクラシック強化試合の豪州代表をスポンサー—

オーストラリア・ニュージーランド銀行 (ANZ : Australia and New Zealand Banking Group Limited) は本日、オーストラリア野球連盟と、2013 ワールドベースボールクラシックの強化試合で日本代表チームと対戦するオーストラリア代表チームの公式日本スポンサーとなる旨を発表しました。強化試合は、2月23日(土)と24日(日)の両日、京セラドーム大阪で実施されます。

この発表に際し、ANZ 在日代表であるピーター・デイヴィスは、「日本における豪州系の大手銀行として、日本で行われる強化試合に参加するオーストラリア代表をスポンサーすることを、大変光栄に思います。2009年同様、日本代表チームがWBC本番直前に行う唯一の外国チームとの対戦であり、野球ファンの方の関心も高いと思います。日本は、野球を愛する国ですので、野球ファンの皆さんは、前回対戦以降、とても待ち望んでいることと思います」と述べています。

オーストラリア野球連盟の最高経営責任者 (CEO) ブレット・ピケット氏は、「ANZ は、オーストラリアの大手銀行の1行として、アジア太平洋地域で成長し尊敬されている銀行だと認識しています。我々は、ANZ をスポンサーに迎えて、日本での強化試合に臨むことを大変楽しみにしております。このスポンサーシップによって、日本そしてオーストラリアの野球ファンの皆様に、胸を躍らせる機会をお届けすることが出来ると思います」と述べています。

日本代表と豪州代表の親善試合は2007年から始まり、日本とオーストラリアからそれぞれ選ばれたプロ野球選手が対戦する場となっています。2013年は京セラ大阪ドームで開催予定で、多くの来場者がスタジアムで、そして何百万人ものファンがテレビ放送を通じて観戦することとなります。

ANZ グループは、これまでオーストラリア、ニュージーランド、そしてアジア太平洋地域において、各種のスポーツをスポンサーしてきました。全豪オープン (テニス)、上海ロレックス・マスターズ (テニス)、ラグビーワールドカップ 2011 などのスポンサーを務めてきました。ANZ は2008年以降、シドニーオリンピック開会式のメインスタジアムとして使用された競技場の命名権を有しており、「ANZ スタジアム」として親しまれています。

ANZ は、1969年に東京に駐在員事務所を設立、その後1985年に銀行業認可を受け東京支店を開設しました。1990年には大阪支店を、2010年には名古屋出張所をそれぞれ豪州系の銀行として初めて開設しました。ANZ は日本において、個人のお客さまから、金融法人や大手事業法人のお客さままで、幅広いサービスを提供している唯一の豪州系銀行です。社会貢献の1つに教育支援を掲げており、当行が全額寄附した「南三陸町オーストラリア友好学習館 (愛称コアラ館)」は先月落成式を終え、震災後、南三陸町初の公共施設の再建施設となりました。

メディアリリースの問合せ先:

オーストラリア・ニュージーランド銀行 CEO Office

Tel: 03 6212 7703

オーストラリア・ニュージーランド銀行

[商号] オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド (銀行)

東京支店

100-6333

東京都千代田区丸の内二丁目4番1号  
丸の内ビルディング33階

大阪支店

530-0001

大阪市北区梅田二丁目2番2号  
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー17階

名古屋出張所

450-6215

名古屋市中村区名駅四丁目7番1号  
ミッドランドスクエア15階